

令和5年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

質問1 新しい図書館と自習室について	10月5日(木) グリムの館
<p>新しい図書館と自習室を作って頂きたいです。 現在の図書館（よく利用するのが南河内図書館）の蔵書も古いものが多いような気がしますし、自習室スペースも集中しにくい作りだと思います。 自習室、飲食できる休憩スペースのある図書館ならば子供たちにとっては勉強しやすい環境、大人や親子連れにとっては憩いのスペースになるのではないのでしょうか。 是非ご検討よろしく申し上げます。</p>	
回答	
<p>図書館の更新につきましては、市の公共施設等総合管理計画、用途別基本方針の中で、「学校やコミュニティ関連施設との複合化を考慮するとともに、今後の利用状況や電子図書館サービスの動向なども考慮の上、規模の適正化を図る」となっておりまして、現在、市内3つの図書館の今後のあり方について検討を行っているところであります。 検討には一定の時間を要することから、当面の間は図書館サービスの維持を基本に、計画的な修繕・改修・更新を行ってまいります。また、できる限りの創意工夫で、親しみやすい図書館づくり、楽しい雰囲気づくりに努めてまいります。 図書館の蔵書については、知的財産として長年読み継がれる図書や郷土資料の収集・保存・提供を基本としております。新刊本については、毎月受入れをし、新着コーナーへの配架をしております。新刊コーナーの本は人気があり貸出中のものが多いですが、予約が可能となっておりますので、ぜひご利用ください。 自習室・飲食できる休憩スペースについては、蔵書をできるだけきれいに保つため図書館では食事は出来ませんが、健康面の配慮から、指定箇所での水分補給は可能となっております。また、図書館の他に学習及び飲食が可能な施設として、各公民館のロビーでの利用が可能です。なお、石橋公民館には学習室、グループ学習スペースがありこちらも利用可能です。 引き続き、下野市立図書館をご利用いただきますようお願い申し上げます。</p>	

質問2 今後のコロナウィルスワクチン推進事業について	10月5日(木) グリムの館
<p>今後のコロナウィルスワクチン推進事業についてお聞きしたく思います。ワクチン接種が推進されて以降も感染が収束をみない一方で、ワクチン接種後症候群としての副反応報告や救済申請数、不安の声が増しています。 今後下野市はこれらの被害状況も踏まえた上で、今回の mRNA ワクチンのデメリットについても併せて市民に積極的に広く周知する必要があるかと考えますが、市長としての今後の方針等見解をぜひお聞きしたく思っております。</p>	
回答	
<p>新型コロナウイルス感染症に対して、国の方針に基づき、本市においては令和3年4月からワクチン接種を開始し、多くの方に接種を受けていただいております。接種開始当初は、全国一斉に感染拡大を防止するため、集団接種を中心に実施しておりましたが、5類に移行後の現在では、重症化予防を目的に市内の医療機関等での個別接種を中心に行っているところでございます。 厚生労働省によると、新型コロナウイルスワクチンは、重症化予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応などのデメリットより大きいことを確認して、重症化リスクの高い方（65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する方）を対象に接種勧奨をしています。接種は強制ではなく、あくまでもご本人の意思に基づき接種を受けていただくものとしています。 ご指摘の、新型コロナウイルスワクチンが mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンであり、このワクチンを反復接種することでの副反応についてでございますが、広報しもつけ8月号の中でも小山地区医師会下野支部のご協力を得て、特集記事として掲載させていただいたところです。 本市においては、9月27日より、秋開始接種が始まっておりますが、追加接種のご案内と併せて、ワクチン説明書を同封して副反応についてもお知らせしております。ワクチン接種を受ける際には、重症化予防の効果と副反応のリスクの双方についてご理解の上、ご本人の意思に基づいてご判断いただくよう呼びかけております。 市としては、国の方針に従ってワクチン接種を実施しているところですが、今後も、市民の皆様には、ワクチンに関する正しい情報を提供すると共に、医師会の先生方のご助言とご協力を得ながら適切なワクチン接種体制の中で、運営してまいります。</p>	

質問 3 市内のスケートボードパーク整備について	10月5日(木) グリムの館
<p>下野市内にスケートボードパーク整備を求める署名と要望書を 3/17 に坂村市長に提出しましたが、市役所からの回答はありません。</p> <p>宇都宮に建設予定の東部総合公園スケートボードパークは、大会開催も視野に入れた本格的なものになるらしいが、初心者/中級者が日常的に利用できるパークが身近にできることが大事です。</p> <p>また、福田栃木県知事は、アーバンスポーツについて、若い世代のスポーツ離れの解消や、若者に選ばれる魅力ある地域づくりにつながることを期待できると発言していました。</p> <p>要望についての進捗状況を教えてください。</p>	
回答	
<p>子どもたちの「大きなスケートボードパークでなくてもスケートボードができる場所がほしい」との気持ちを受けまして、まず、石橋地区内の公園やその他の公共施設のなかで、スケートボードができる場所を探してきました。</p> <p>近隣の小山市では、県南体育館の西側駐車場に仮設のスケートボード場を設置しているとのことですが、本市におきましても、周辺環境への影響等も考慮し、まずは既存の公園等駐車場の一部を活用することが合理的であるとの考えに立ち、これまで適地を検討してまいったところですが、残念ながら、石橋地区内においては、スケートボードができる場所が見当たらず、さらに、国分寺地区や南河内地区にも範囲を広げて検討してまいりましたが、残念ながら現時点において適地を見つけることができておりません。スケートボードができる場所については、引き続き、周辺環境にも配慮しながら検討を続けてまいります。</p>	

質問 4 下野市共通商品券について	10月5日(木) グリムの館
<p>前回実際に使用して実感しましたが、全部 1,000 円の為、使い勝手が非常に悪かったです。宇都宮市では 500 円券、上三川町でも一部 500 円券があると情報を得ましたのでご検討をお願い申し上げます。</p>	
回答	
<p>下野市の共通商品券発行事業については地域経済の景気回復を図るため、地元商工業者の売上増進と消費者の購買意欲の向上を目的として、1 枚千円券の 12 枚綴りを 20% のプレミアを付けて 1 万円で販売いたしました。</p> <p>1 枚の額面額については、これまでも実施主体である商工会や実行委員会において検討してきましたが、商品券制作に係る経費の増加や消費者の購買額の抑制なども懸念されたことから、1 枚の額面を千円で実施してきたところであります。</p> <p>商品券発行事業は消費喚起による売上増進を目的としておりますが、一方では消費者が利用しやすいことも重要なことと考えられますので、商工会や事業者の意向も踏まえ、コスト面や利便性など総合的に判断してまいりたいと思います。</p>	

質問 5 姿川ポケットパーク内トイレについて	10月5日(木) グリムの館
<p>下野市シルバー人材センターの会員の方が姿川細谷橋西側にあるトイレを定期的に清掃しているそうです。そのトイレは屋根に溜まった雨水を利用しての水洗トイレだそうです。雨の降らない時期の汚物清掃は大変困難で想像以上の汚れだそうです。一度センターに報告したとも聞いています。改善か撤去か検討をお願いしたいとのこと。</p>	
回答	
<p>ご指摘の、国道 352 号の北側にある姿川ポケットパーク内トイレについては、管理委託先のシルバー人材センターからも同様の報告を受けております。そのため市では、改修か撤去かについての検討をしておりましたが、今年の春にトイレの浄化槽が故障し、現在、使用を中止している状況でございます。</p> <p>今後のあり方について検討した結果、改修には多額の費用がかかることや、近接の「ゆうがおパーク」の施設利用が可能であることなどから、このトイレにつきましては撤去する予定といたしました。</p>	

質問6 道路整備について	10月5日(木) グリムの館
<p>石橋の文教通りを南進すると、県道笹原壬生線に突き当たります。そこからさらに南側の国分寺公民館公民館前の交差点まで道路を延伸する計画があると承知していますが、工事着工と完成予定はいつごろになりますか。また、公民館前の交差点からさらに南へ向かうと、川中子付近で突き当たりになりますが、ここから小山方面へ道路が伸びる予定はあるのでしょうか。</p>	
回答	
<p>ご指摘の道路は、県道鹿沼下野線として県が整備を進めている道路であります。整備進捗につきましては、市役所の北西部及び国分寺公民館付近の一部の道路整備が完成しており、その他の未整備箇所につきましても、現在、道路用地の取得を進めているところであります。</p> <p>しかしながら、完成の時期につきましては、現在、用地交渉が難航しているため、大変申し訳ございませんが、現時点では未定としかお答えすることができません。今後も、引き続き県と連携し、早期完成を目指してまいりたいと考えております。</p> <p>また、小山市方面への道路延伸計画につきましては、突き当たり地点から扶桑歩道橋交差点までの道路整備構想が存在しております。本構想につきましては、本市と小山市によって「下野・小山間道路整備促進協議会」が立ち上げられており、定期的に勉強会や県への働きかけ等を実施しておりますが、小山市において地元説明会を開催したところ、住民からの合意が得られず、現在、計画は止まったままとなっております。</p>	

質問7 道路整備について	10月5日(木) グリムの館
<p>中大領公民館の東側道路を、国分寺方面へ南進し国分寺公民館前の栃木二宮線へ出ようとする、下野壬生線を越えた先で突き当たり、箕輪橋方向へいったん右折し、JA集荷場方向へ左折することになります。この突き当たり箇所がまっすぐに抜けられると便利ですが、そのような計画はありますか。</p>	
回答	
<p>ご指摘の道路は、市道1-3号線として、県道栃木二宮線から県道下野壬生線までの約2.1kmを、幅員12m、両側歩道の道路として整備する計画であります。南側から、第1工区として県道栃木二宮線からJAおやま集出荷所までの延長900m、第2工区をJAおやま集出荷所から県道下野壬生線までの延長1,200mとして整備を進めております。現在、第1工区の用地取得を進めているとともに、道路の排水を姿川へ排出するための工事を進めている状況でございます。</p>	

質問8 フリースクールについて	10月5日(木) グリムの館
<p>小中学校の不登校の割合が増加しているとの報道がありました。下野市には不登校の生徒の受け皿であるフリースクールがありません。スマイル教室を新しくすると議会だよりで拝見しましたが、公的な機関だけでなく民間の受け皿があると当事者が選べるので良いと思います。また、フリースクールに通えば出席扱いになるとか、保護者の方の負担軽減などについて教育委員会に配慮していただきたいです。</p>	
回答	
<p>市では、不登校の児童生徒の支援の場として「教育支援センター『スマイル教室』」を設置しています。「スマイル教室」では、不登校の児童生徒の学びを支えるため、児童生徒の在籍校と連携しながら、学習活動や体験活動を行ったり、教育相談の場を設けたりしています。</p> <p>一方、民間団体等が運営するフリースクールも、不登校児童生徒の支援の場として注目されており、国の方針において「民間施設等の取組の自主性や成果を踏まえつつ、より積極的な連携を図っていくことが望ましい」とされています。</p> <p>県においても、フリースクール等の民間施設・団体と教育委員会等が相互理解を深め、連携強化を図るため、令和3年より「学校以外の場における教育機会の確保に関する連絡会議」を開催しております。</p> <p>今後も、県と連携して効果的な支援の在り方を研究してまいります。</p>	

質問 9 第3の子どもの居場所について	10月5日(木) グリムの館
<p>栃木県においては、第3の子どもの居場所はいくつかありますが、下野市にはありません。下野市でも第3の子どもの居場所の活動ができる団体の募集、支援をしていただきたいです。</p>	
<p>回答</p>	
<p>家庭と学校のほかに、子どもが安心して居られる居場所として、「サードプレイス」と呼ばれる第3の居場所の有用性が叫ばれています。本市においては、公的な子どもの居場所として、児童館や公民館、図書館などが整備されております。</p> <p>児童館は、南河内児童館・石橋児童館・国分寺東児童館・国分寺駅西児童館・姿西児童館 の5館があります。</p> <p>また、公民館は、南河内公民館・南河内東公民館・石橋公民館・国分寺公民館の4館、図書館は、南河内・石橋・国分寺の3館がございます。各館とも利用しやすい環境づくりに努めておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。</p> <p>ほかにも、地域によりましては、コミュニティセンターなどを拠点として、子ども会や自治会、コミュニティ推進協議会などの活動が行われ、さまざまな行事に取り組みされているところもございます。</p> <p>本市としましては、これら地域の方々の活動の掘り起こしや連携を通じて、子どもたちが安心して過ごせるサードプレイスの創出に努めてまいりたいと考えております。</p>	

質問 10 児童館の利用について	10月5日(木) グリムの館
<p>先日、石橋の児童館を利用させてもらい、とても綺麗で素晴らしい施設があると知りました。児童館の中にあるので安全で目の前にトイレもあり、小さい子に向けたイベントや企画に利用できると思います。もっと多くの方がそこを利用し易いと良いなと思いました。</p> <p>私は、地域のママ達や子ども達をつなぐ為のイベントをしています。子育て中のママや子ども達が、気軽に集まり育児相談やリフレッシュが出来ればと活動しています。</p> <p>子どもを連れての活動は、いろいろ大変な面が多く、条件が揃った施設は少ないです。駐車場の近さ、安全面、トイレやオムツ替え設備、それと大きな声を出しても迷惑にならない等、子ども達が安全に遊びながら、ママ達が交流できるスペースは限られています。</p> <p>児童館の中にある区切られた部屋を、併設する公民館と同じように、一般の方が借りる事は出来ないのでしょうか。例えば、子ども向けの教室やワークショップイベント等で使えると有難いです。</p>	
<p>回答</p>	
<p>児童館は、児童福祉法に基づく児童福祉施設で、遊びを通して子ども達の健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊にすることを目的とした子どもの施設です。石橋児童館は令和4年12月に公民館と一体化した複合施設として開館し、子育て世代や児童、学生、高齢者世代がともに学び、交流できる場、そして子育て支援の場として地域の皆様に親しまれております。公民館と併設しておりますが、それぞれの目的が異なるため施設の利用については公民館と同様にできない部分もございます。厚労省児童館ガイドラインおよび下野市児童館条例第6条で「児童館の使用料は無料とする」と規定されており、一般の貸し出しは想定しておりませんので、部屋の借用に関しましては、公民館等をご検討いただきたいと思います。</p> <p>児童館では、小学生向けの制作や、年齢に制限なく体験できる週替わりの工作「DIY」など、児童厚生員が計画した活動を提供し、利用者の皆様に楽しんでもらえるよう努めております。また、公民館との連携事業として、公民館で活動されているボランティア講師の方を招き、工作教室などの児童館活動に参加していただいております。さらに、未就園児を対象とした親子教室も人気となっております。季節に応じた遊びや歌、絵本の読み聞かせなどを提供し、子どもとその保護者が自由に交流しながらリフレッシュできる場となっております。</p> <p>これからも児童館が子育て支援の場として、そして子ども達の心豊かな育ちを支える場として利用されるよう努めてまいります。</p>	

質問 11 子どもから始めるリサイクル促進活動について	10月5日(木)グリムの館
<p>私の子どもが通っていた幼稚園は、秋になると市の幼稚園連合が主催する『ゴミ拾い活動』があります。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大していた時期は、その活動が中止され代替え案として幼稚園のPTA 独自で『子ども達へのゴミ分別ワークショップ』をやっていました。子どもにゴミのリサイクルについて話し、分別のポイント等を説明してワークショップをやるのですが、それ以降各家庭で『リサイクル活動』を楽しみながらやる事ができました。</p> <p>子どもは素直なので、家のゴミ箱に分別マークを付けたり、分別は当たり前的事として捉えています。下野市のリサイクルを促進する活動として、子どもから始めるのはどうでしょうか。学校や幼稚園に行ってワークショップを行ったり、各施設に分別リサイクル BOX を設置したり出来れば良いと思います。</p>	
回答	
<p>市のリサイクル促進活動につきましては、子どもから大人までが、リサイクルやごみの減量化などを身近なものとして学んでいただき、実践していただけるよう、既に実施しております「ふるさと学習」や「出前講座」の内容等について見直しや追加などを検討してまいります。</p> <p>また、各施設での分別リサイクル BOX の設置については、管理や収集の都合もございますので、施設管理者等と協議のうえ検討してまいります。</p>	

質問 12 コロナウイルスワクチン接種による被害の周知について	10月5日(木)グリムの館
<p>コロナウイルスワクチン接種による被害の実状やその救済措置についてホームページ等で周知していただきたいです。</p>	
回答	
<p>コロナウイルスワクチンの副反応のリスクについては、医師会の先生に相談しながら情報を提供してまいりたいと思っております。</p> <p>また、ご意見いただきましたコロナウイルスワクチン接種による被害の実状やその救済措置についての情報の周知については、内容を精査しホームページで情報を提供したいと考えております。</p>	

質問 13 コロナウイルスワクチン接種による被害の救済申請件数について	10月5日(木)グリムの館
<p>栃木県内の救済申請件数は6月時点で108件、死亡認定は小山市で1件、真岡市で1件でした。市長はご存じでしょうか。下野市の現状はどうでしょうか。</p>	
回答	
<p>下野市の救済制度の申請状況は、これまでに2件の申請がございました。その内1件は、国に認定され救済給付がおこなわれました。もう1件については国の認定を受けられませんでした。</p>	

質問 14 交通指導員の新規配置について	10月5日(木)グリムの館
<p>要望個所は、古山小学校と大柳内科・眼科の間の押しボタン式の信号機です。利用児童が151名おり、登校時間の交通量が年々増えております。交通指導員1名の配置を検討していただきたいです。</p>	
回答	
<p>交通指導員の新規配置については前向きには検討していきたいですが、交通指導員のなり手がなかなかいないのが現状です。新たに交通指導員を引き受けていただける方が見つかり次第ご要望にお応えしたいと思っております。</p>	

質問 15 指定ごみ袋について	10月5日(木)グリムの館
<p>ごみの減量化を目指しているのにどうして450のごみ袋を作ろうとしているのでしょうか。</p>	
回答	
<p>今回の450というのは、仮での提案です。今後、みなさまのご意見を反映して数種類のサイズを提案したいと考えております。</p>	

質問 16 県南広域的水道整備事業について	10月5日(木) グリムの館
<p>現在、地下水は安定して採取できていて枯渇することはないし、水の需要も減ってきているのに表流水を利用するのはなぜでしょうか。</p>	
回答	
<p>現時点では、計画に参加を決定しているわけではなく検討段階ということをご承知おきください。水道事業管理者として、水道水を継続して安定的に供給することが使命でございます。地下水が永久になくならないとは言えないため、水道水を継続して安定的に供給するために検討を進めていきたいと考えております。</p>	

質問 17 事務事業評価の公表について	10月6日(金) 国分寺公民館
<p>納税者への積極的な情報公開と説明責任として、全ての事務事業評価シートのインターネットでの公開を求めます。</p> <p>2022年12月1日の国会での予算委員会で、総務省は「事務事業評価導入自治体1064のうち公表をしている自治体は853で、前回調査より91団体増えている」と答弁しています。</p> <p>栃木県内でも宇都宮市・佐野市・栃木市・真岡市や野木町や芳賀町などもインターネットで殆どの事務事業を公開していますし、鹿沼市も秋から公開予定です。</p> <p>納税者は、税金が何にどの様に使われたかを知る方法は事務事業評価を見る以外ありません。決算情報では不十分です。令和5年9月7日の私への「事務事業評価に係る市政への提案への回答」の中で、内部評価の事務事業評価シートについて「事務事業評価は組織としての取り組みを評価するもの」と回答されています。</p> <p>であるなら、納税者への情報公開と説明責任から、下野市の全事務事業の詳細な内容とコストが書かれた事務事業評価シートを、コスト削減とデジタル社会の時代の要請にあわせ、受け手の取捨選択できる様インターネットでの公開をお願いします。</p>	
回答	
<p>本市の事務事業評価の結果につきましては、これまで、閲覧のし易さを考慮したうえで、事業名、概要、計画、評価項目ごとの判定、評価結果などを一覧形式にて公表してきました。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり、県内の他市町において、全シートの公開を行っている例を踏まえまして、本市におきましても、今後、全シートの公開に向けて検討を進めてまいります。</p>	

質問 18 行政カレンダーについて	10月6日(金) 国分寺公民館
<p>ごみ収集の曜日が書いてある行政カレンダーを、コスト削減のため小山市と野木市と同じA3用紙両面カラーのゴミカレンダーにして下さい。</p> <p>下野市の立派な月めくりの行政カレンダーの経費は、印刷代 43.56円×29800部=1,298,088円 配送経費 166,110円 合計 1,464,198円です。</p> <p>アスクルでA3両面光沢紙 3万部 印刷代 105,040円、回覧版で配布可能です。1枚4円にもなりません。ゴミ分別アプリ「さんあーる」もありますし、公共施設等での配布も可能です。</p> <p>また、行政カレンダーには他市には見られない納税日等の過剰な情報が書かれています。職員の労働のコスト削減の為にも、このような過剰な情報は不要です。</p> <p>以前から配布されているので、はじめは多少不便を口にする人もいるかもしれませんが、カレンダーは100円均一でも買えるのですから、どうしても必要な希望者には実費で作って差し上げる方法もあると思います。</p>	
回答	
<p>本市の行政カレンダーは、ごみの収集カレンダーのみならず、市の主なイベント、各種税目・公共料金の納税カレンダーや、乳幼児健康診査・がん検診、各種相談日の日程などをまとめた形で発行しております。他にも、普段目に付くところに掲示して使用するというカレンダーの特性を活かし、行政よりお知らせしたい事項をまとめるとともに、各種問い合わせ先や、救急医療に関することなど、いざという時使用する情報を掲載しています。</p> <p>ご意見にもございましたとおり、掲載事項のなかには広報紙やホームページ等で重ねて周知しているものもありますが、これらの項目については決して「過剰」であるとか、「いずれかひとつの広報媒体でお知らせすれば充分」とは考えておりません。広報紙での記載を見落としてしまった方、ホームページを見られない方にもお知らせできるよう、市民の皆様の生活に密着したものと便利な</p>	

情報を厳選して掲載しております。

また公民館・図書館等の公共施設での配布につきましては、既に実施をしているところであります。

ごみカレンダー単独での発行を、とのご意見でありましたが、市より発行する各種カレンダーを一冊にまとめることで、見やすくわかりやすい行政カレンダーとしておりますので、今後も現在の形で継続してまいりたいと考えております。

質問 19 速度取り締まりの実施について	10月6日（金）国分寺公民館
<p>県道 44 号線では、国分寺東小学校への登下校時に 4 か所において児童が横断します。県道のため、車通りの多い道になりますが、そのうち 3 か所には信号機がありません。</p> <p>登校時には交通指導員さんや保護者ボランティアの誘導で横断していますが、下校時には交通指導員さんはなく、保護者もお勤めの方は付き添えないため、危険を感じているところです。</p> <p>頻回でなくとも、散発的に警察署による速度取り締まりを実施いただければ横断児童への配慮を運転者に促せるのではないかと考えており、速度取り締まりの実施について警察へ要望をしていたくことを希望します。</p>	
回答	
<p>市から下野警察署に対し、ご意見があった路線上での下校時間帯における速度違反取締りの実施を要請いたします。</p> <p>交通取締りは警察の業務となり、実施の可否、方法等は警察にお任せすることとなります。</p> <p>警察で現場の道路状況、交通状況等から取締りが困難であれば、別の方法で交通安全に資する活動を実施していただけるよう、要請いたします。</p>	

質問 20 防護柵の設置要望について	10月6日（金）国分寺公民館
<p>市道 9164 号線について、国分寺東小児童の通学路となっており、用水路への転落の危険があるため、防護柵の追加を要望します。</p>	
回答	
<p>市道 9164 号線は、小山用水路の脇の「管理用道路」となっており、用水路に堆積した土砂の撤去や草刈りなどの作業に利用されております。</p> <p>また、隣接する農地の耕作のための通行にも利用されております。</p> <p>地域の「生活道路」としての安全を確保するために防護柵の設置を必要とする場合は、地元の皆さままでご相談のうえ、自治会長さまから『生活道路修繕要望書』の提出をいただき、設置の可否を検討することになります。なお、防護柵が設置されることにより、小山用水路の管理に影響があると考えられるため、小山用水土地改良区との協議も必要になります。</p> <p>さらに、15 名の児童の「通学路」になっているとのことですので、教育委員会の『通学路安全推進会議』において、学校、警察、市などの関係機関による通学路の安全対策の検討もできるものと考えられます。学校に相談をしていただくことのご検討もお願いいたします。</p>	

質問 21 交通指導員の増員について	10月6日（金）国分寺公民館
<p>アサヒビール南の駅東 4 丁目交差点は、自動車、自転車等の交通用が多く、児童の通行に不安のある個所です。現在は 1 名の保護者ボランティアに頼っている状況で、一人では行き届かない場面を多々感じられます。</p>	
<p>国分寺東小学校に割り当てられている交通指導員 5 名は、別な地点で交通指導を実施いただいておりますが、駅東 4 丁目交差点にも配置いただけるよう、指導員 1 名の増員を希望いたします。</p>	
回答	
<p>児童の交通安全につきましては、スクールガード、交通ボランティア、交通指導員等、各学校区全体で検討していく必要があります。</p> <p>今回のご提案である交通指導員の増員、配置変更につきましては、学校全体での調整が必要となるため、今後通学路の安全協議を行う下野市通学路安全推進会議に上申し、安全安心課、教育総務課、学校、下野警察署で協議の上、指導員の適正な配置について検討いたします。</p>	

質問 22 県南広域的水道整備事業について	10月6日(金) 国分寺公民館
地下水が豊富にある自治体は、水道水源の100%を地下水利用とするのは普通のことで、地下水を一部放棄してまで川の水を導入することは、市民は求めておりません。この事業から撤退していただきたいと思っています。市長のお考えをお伺いします。	
回答	
現時点では、計画に参加を決定しているわけではなく検討段階ということをご承知おきください。 私は、良質で安全な水道水を継続して安定的に供給するという水道事業管理者の責務を果たし、市民の皆様にとって最も重要なインフラのひとつである水道水を途切れさせることなく守っていくことが、最大の使命であると考えております。 それとともに、持続可能な行財政運営を継続していくため、県南広域的水道整備事業による新たな財政負担や、水道料金への影響についても、十分配慮する必要があると認識しておりますので、これまで本市がこの事業に関わってきた経緯も踏まえながら、市民の皆様のご理解が得られ、なおかつ、将来の本市の水道事業において最良の選択ができるよう、慎重に検討してまいりたいと考えております。	

質問 23 下野市の不登校児童の人数について	10月6日(金) 国分寺公民館
下野市の不登校児童数はどのくらいでしょうか。	
回答	
不登校児童数については、全国の合計数は公表されておりますが、特定されるリスクを考慮して各市や町の人数については公表しておりません。 コロナ禍での不登校者は、全国的に急激に増加しました。しかしながら、全国の上昇率と比較すると下野市はそこまで上がっておりません。	

質問 24 サポートセンターについて	10月6日(金) 国分寺公民館
サポートセンターだけで不登校児童に対応しきれるのでしょうか。	
回答	
サポートセンター並びにスマイル教室の利用者数は年々増えてきておりますが、対応しきれている状況です。	

質問 25 川中子地内のごみステーションについて	10月6日(金) 国分寺公民館
川中子地内のごみステーション付近の橋がでこぼこしているので現場を確認していただきたい。	
回答	
現場を確認して対応いたします。	

質問 26 薬師寺の知名度向上について	10月6日(金) 国分寺公民館
薬師寺の知名度が低いと感じています。残念なことに学校名から薬師寺がなくなりました。学校名に薬師寺を復活してほしい。薬師寺と名前の付いた学校の卒業生が活躍すればシティセールスになるかと思えます。	
回答	
学校名につきましては、卒業生や地元の方たちの様々な思いがあるかと思えますので慎重に検討してまいります。また、薬師寺は、日本三戒壇のひとつに数えられておりますので、誇りに思っ全庁あげて知名度向上に取り組んでいきたいと考えております。	

質問 27 南河内第二中学校について	10月6日(金) 国分寺公民館
南河内中学校が南河内小中学校に変わりました。そこで、南河内第二中学校の「第二」を取るのはいかがでしょうか。また、これを機に地域に根差した名前に変えるのはいかがでしょうか。	
回答	
学校名につきましては、卒業生や地元の方たちの様々な思いがあるかと思しますので慎重に検討してまいります。	

質問 28 ふるさと納税について	10月6日(金) 国分寺公民館
令和3年度はマイナス4,000万円で現在は、少しずつ改善されていると伺いました。ですか、もっと、下野市のふるさと納税をアピールする必要があると感じました。例えば、職員が遠方に出張に行く際に、下野市のふるさと納税を宣伝してくるとか、専用ダイヤルを設けるなどをされるのはいかがでしょうか。もっと市民にも赤字であることを伝えれば協力してもらえんと思しますので、事務事業評価シートに書いて公表していただければと思ひます。	
回答	
ふるさと納税につきましては、公約の大きな柱ですので、全力で取り組んでいきますことはお約束いたします。少しずつではありますが、品物の充実を図っておりますし、システムの改善も進めております。今回いただきましたご意見につきましては、しっかりと受け止めさせていただきますことができるとことは取り組んでまいります。	

質問 29 EVの急速充電器の整備について	10月7日(土) 南河内公民館
SDGsに向けてEVシフトに関しては、日本は欧米、近隣国に遅れをとっています。 栃木県としては、13年ほど前に東京、神奈川などとならび、知事がEV推進のためのインフラを整えようと頑張りましたが、伸び悩んでいます。 当市では、道の駅しもつけに急速充電器QCがメーカーから寄贈されてありますが、利用者ネットワーク(e-Mobility Power)に接続されていないため、有料化されてから、ほぼ利用されていないようです。最近ネット利用可能な普通充電器が奥の駐車場に2器設置されましたが、道の駅利用を1時間程度とすると、20~40km程度の走行しかできないため、利用者は上三川のディーラー、工場や小山のショッピングモールなどのQCを利用するしかありません。他の市町村には、本庁舎、支所、運動場、図書館、病院、健康保養施設などにQCがありますが、当市には道の駅のあまり使われていないQC以外どこにも見あたりません。 EV購入補助金も少し出るようですが、インフラ整備ができていないので、利用者の使いやすい施設を早急に多数作っていただき、SDGsに向けて頑張ってくださいますようお願いいたします。	
回答	
本市は、令和2年度より、地球温暖化の防止及び大気環境の改善を図るとともに、住宅非常用電源として活用することで災害に強いまちづくりの推進を目的とし、電気自動車10万円、PHV(プラグインハイブリッド)5万円の一部補助をしております。 また、2050年までに二酸化炭素排出ゼロ、脱炭素社会の実現を目指し、令和5年3月に作成した第二次下野市環境基本計画でも掲げています「省エネ・脱炭素型コンパクトシティの構築に向け」次世代自動車用のインフラ充実が必要不可欠であります。 今年度は、道の駅しもつけに設置してある既存の急速充電器を利用者ネットワーク対応の機種に更新するため、現在、国に補助金申請を行っているところであり、今後も他の公共施設への導入について検討してまいります。	

質問 30 県南広域的水道整備事業について	10月7日（土）南河内公民館
------------------------------	-----------------------

新聞記事によれば栃木市は水道料金の10%値上げを検討中とのこと。それは今後の人口減による料金収入の減少と老朽化した水道施設の改修費増大に対処するため、いずれ下野市も他人事ではなくなると思います。そんな中で南摩ダムの表流水を買うために多額の費用負担ができるのでしょうか。

9/2の「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 下野」で、知事は「最終的に各市町が判断することであって、県が無理に押し付けるわけではない」と明言しました。ならば、地下水100%で水量にも余裕がある下野市は、県から高くてもまずくて災害にも弱い表流水を買うのではなく、これまでの市民の声に答えて、安くて美味しく災害にも強い地下水資源を今後も継続的に活用するため、その保全と涵養に努めていただきたいと思います。

関連して下野市の美味しい水を広報することも必要だと思います。市のペットボトル入り飲料水「夕顔のしずく」はラベルに「水道水」としか表示されていないが、熊本市や昭島市のように「深層地下水100%」を前面に明示し、PRしていますので、下野市も、誇るべきブランド品として積極的に売り込むべきではないでしょうか。

栃木市が行っている水道料金値上げの検討を行なう理由は、現在多くの事業者が直面している課題であり、ご指摘のとおり、本市も他人事とは言えない状況でございます。水道事業は水道ビジョンなどの計画に基づき事業を進めておりますが、今後財政シミュレーションを行い、経営戦略の見直しが必要と考えております。

一方で、県南広域的水道整備事業の目的のとおり、水源の安定確保を行い、将来にわたり水道水の安定供給を行うことも重要であります。

その目的のために、「水道料金がいくらになっても良い」ということは考えておりません。

現在、用水供給条件の検討を行っているところであり、その後、県から供給単価が示された時には、これまで本市がこの事業に関わってきた経緯も踏まえ、市民の皆様のご理解と、なおかつ、将来の本市の水道事業において最良の選択ができるよう、慎重に検討してまいりたいと考えております。

また、現在使用している水源については、今後も適切に管理を行ってまいります。

「夕顔のしずく」は下野市のおいしい水をPRするため作成・販売を行っているところですが、災害時の備蓄水としても使用しておりますので、ご意見の一つとして承ります。

質問 31 文化会館の建設に対する市長の方針について	10月7日（土）南河内公民館
-----------------------------------	-----------------------

「文化都市下野市」と言われていたにもかかわらず、近隣の市町にはある文化会館・ホールが無く、音楽、絵画などの文化を市民の中に醸成する施設が未だにありません。

総合的な文化会館を建設するお考えはあるか、また具体的な計画があればお伺いしたいです。

また、市役所のロビーについても、照明やパネルの増設などをご検討いただければと思います。

回答	
-----------	--

文化芸術施設の整備に対する様々なご意見等があることは、充分認識しておりますが、整備にあたっては、都市計画法の規制や用地の確保、莫大な建設費用に対する財源確保など、様々な懸案事項があり、課題解決のためには、多くの時間を要することとなりますので、ご理解をいただければと考えております。

とはいえ、文化芸術施設は、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供し、教養を高め、心を豊かにしてくれるとともに、人々の交流の場としての地域コミュニティの拠点となるため、まちづくりにとって極めて重要な施設であり、市民ニーズも高いと認識しております。

そのため、南河内公民館、国分寺公民館の大規模改修、公民館機能の充実を図った石橋複合施設の建設や、令和5年度当初予算に計上させて頂いております南河内東公民館の空調、電気設備の改修工事などを実施することにより、文化芸術活動の促進を図っているところであります。

今後も第二次下野市総合計画後期基本計画に位置づけております多くの市民の方が集まり、気軽に発表や活動の場として活用ができ、イベントなども楽しめる多目的な交流拠点となる文化芸術施設の整備を検討してまいりたいと考えております。

質問 32 今後の自治会についての対策	10月7日（土）南河内公民館
<p>下野市は今後の自治会についての青写真なり、今後の自治会についての対策を考えていますか。市民に「自治会とは何か。自らの利害にどう影響するのか」を啓発しているのでしょうか。</p> <p>自治会の活動が現在、岐路に立たされています。全国的にその傾向のようです。下野市も例外ではなく、自治会の加入率が下がり、役員のなり手がいなくなっています。特に若い世帯の多くは、「余計だ、面倒だ」と思い、加入しないようです。毎年、櫛の歯が抜けるように、会員が退会しています。</p> <p>地域コミュニティを、誰がどう支えていけばいいのでしょうか。このままでは、10年もすれば自治会は消滅の危機を迎え、市の行政に大きな影響を与えたいと思います。待ったなしの時期に来ているのではないのでしょうか。現在は水面下にあり、目立ちませんが、水面に出てきたとき、手遅れになりませんか。</p>	
回答	
<p>自治会は、地域コミュニティの中心的な役割を果たしており、自治会で行っている清掃活動や高齢者・子どもの見守り、防災・防犯活動などのおかげで、住んでいる地域の環境・安全安心が保たれていると考えております。そのため、市では、今後も、自治会の加入率の向上に向けた事業を推進し、住みよい地域づくりを支援してまいります。</p> <p>このことから、自治会の重要性を市民へ伝えるための取組として、市では『自治会長ガイドブック』や『自治会加入促進ハンドブック』を毎年作成し、自治会長へ配布しているほか、市ホームページでも周知しているところであります。</p> <p>また、今月14日にはグリムの館において自治会運営全般に関する専門の講師を招き、市民を対象に自治会の現状・課題解決をテーマとした講演会を開催いたします。</p> <p>このほか、昨年は市自治会長連絡協議会、栃木県宅地建物取引業協会と「自治会加入促進に関する協定」を締結し、自治会や取引業務の中で転入者等に対し、自治会の重要性について働きかけていただき加入促進を図っております。</p> <p>さらに、昨年加入促進に関わるチラシを新たに作成し、自治会活動の案内や災害時における共助の大切さをPRしております。</p> <p>今後も自治会に対する各種交付金等の制度見直しによる資金面の強化も含め、積極的に対策を講じてまいりたいと考えております。</p>	

質問 33 深層地下水 100%の水道事業の継続を	10月7日（土）南河内公民館
<p>現在の水道事業は1970年代から始まりましたが、その当時から現在にいたるまで、水不足は一度も発生していません。</p> <p>現在の水道水は良質な深層地下水であり、料金も安く、地下水の汲み上げによる地盤沈下も発生しておりません。深層地下水100%の水道水は、定住や移住の促進政策につながり、良質な深層地下水による産業の活性化につながると考えます。</p> <p>全体として下野市がさらに発展できるため、現在の深層地下水の水道事業を継続してもらいたいです。</p>	
回答	
<p>私は、良質で安全な水道水を継続して安定的に供給するという水道事業管理者の責務を果たし、市民の皆様にとって最も重要なインフラのひとつである水道水を途切れさせることなく守っていくことが、最大の使命であると考えております。</p> <p>それとともに、持続可能な行財政運営を継続していくため、県南広域的水道整備事業による新たな財政負担や、水道料金への影響についても、十分配慮する必要があると認識しておりますので、これまで本市がこの事業に関わってきた経緯も踏まえながら、市民の皆様のご理解が得られ、なおかつ、将来の本市の水道事業において最良の選択ができるよう、慎重に検討してまいりたいと考えております。</p>	

質問 34 県南広域的水道整備事業計画からの撤退を	10月7日(土) 南河内公民館
<p>県南広域水道事業に参加すれば、多額の市債務を抱えると共に、水道料金の値上げは避けられなく、住民に多大な負担をかけることとなります。</p> <p>現在の水道設備は老朽しており、設備更新が最優先される状況にあります。新たな設備新設をしている状態ではないと考えます。したがって、県南広域水道事業からの撤退を求めます。</p>	
回答	
<p>県南広域的水道整備事業の目的は水源の安定確保を行い、将来にわたり水道水の安定供給を行うことです。</p> <p>しかし「目的のために料金がいくらになっても良い」ということでは考えておりません。</p> <p>現在は用水供給条件の検討を行っているところであり、今後供給単価が示された時には、これまで本市がこの事業に関わってきた経緯も踏まえながら、市民の皆様のご理解が得られ、なおかつ、将来の本市の水道事業において最良の選択ができるよう、慎重に検討してまいりたいと考えております。</p>	

質問 35 エコライフまつりについて	10月7日(土) 南河内公民館
<p>エコライフまつりは、グリーンタウン地区の造成が始まった当初から地域の事業者さんが中心となって、住みよく明るいグリーンタウンを作ろうという目標で始まったおまつりだと聞いております。自治会の皆さんが三角くじやヨーヨーつり等の出し物を行い、地域の事業者さんが焼き鳥やかき氷、チョコバナナ等を作ってくれました。小さい子ども連れの家族がそこへ行って自治会の皆さんと交流し、地域の子どもたちにとっても、とても楽しい思い出となっていました。</p> <p>東日本大震災で、自然の恐ろしさを感じましたが、人間は、地域の人と助け合っているから、生き残れるのだと感じました。おまつりは、ご近所との絆を築くものであり、何かの時に必ず役に立つものだと思います。平成27年から、市民活動補助事業の補助金を申請して、おまつり音頭を創作しました。コロナでおまつりが中止になってしまい、今後はどのように続けていこうかということコミュニティの役員さんたちも非常に苦慮しています。一度、皆さんと一緒に市長に相談したいと考えていますので、よろしく願いいたします。</p>	
回答	
<p>エコライフまつりでは、子どもたち、地域の皆さんの楽しめる場所を作っていただき、感謝いたします。ランチトークにお申し込みいただくことが可能ですので、お話をさせていただければと思います。</p>	

質問 36 免許返納した人の交通手段について	10月7日(土) 南河内公民館
<p>民生委員をしておりますが、担当する地区の高齢者の中で、身体的な障害や色々な理由で運転免許証を返納した方がいますが、病院や買い物などの市民生活を送るにあたって、免許証を返納したことによって不便になっている方がいます。下野市では、自動運転技術を利用した地域交通の問題を解決する施策を考えているのかをお聞きしたいです。</p>	
回答	
<p>自治医大駅と自治医科大学附属病院の間で、自動運転バスの実証実験を実施する予定であります。高齢者の皆さま、交通弱者の皆さまのために、さらに充実した地域交通を整備できるよう、今後様々な課題を解決していきたいと考えております。</p>	

質問 37 空き家について	10月7日(土) 南河内公民館
<p>四丁目自治会は、55件ほどある中、5件は住んでいません。高齢者施設に入って、亡くなっている方などにより空き家になっています。病気になって自治会と疎遠になり、孤独死する方もいます。自治会として声かけ等もしてはいたしましたが、だんだん付き合いが悪くなることもあります。空き家についても、草も生い茂ってしまったような状態をそのままにして良いのか、どうしたら良いのか悩んでいます。</p>	
回答	
<p>市としましても、民生委員の皆さまや自治会の皆さまとのつながりを持たせていただき、対応していきたいと思っております。</p>	

質問 38 指定ごみ袋の導入について	10月7日(土) 南河内公民館
<p>どうして、ごみ袋に名前を入れるだけで、ごみの減量になるのか、お聞きしたいです。</p>	
回答	
<p>現在は、可燃ごみを出すときは、透明または半透明のビニル袋に入れて出していただいておりますが、ごみを減量化するにはどうしたら良いか検討したなかで、燃やすごみについては指定のごみ袋にすることで、はっきりとここに入れるのは燃やすしかないゴミですよということを印象付けるためでございます。今現在は、燃やすごみの中に、ビニプラや資源ごみも入っていることがございますので、袋によって市民の方に意識づけをさせていただきたいと考えております。</p>	

質問 39 ごみステーションについて	10月7日(土) 南河内公民館
<p>南河内時代につくられたであろうごみステーションが、ブロックで作られていて、老朽化で壊れているところもあります。改善していただけないでしょうか。また、未だに、道路にごみを置いて収集を待っているところもあります。このきれいな下野市の中で、ごみを道路に出すことがないようにしてほしいと思います。</p>	
回答	
<p>ブロック塀については、現場を確認させていただきますが、基本的には、ごみステーションの管理等は利用する方達で管理し、修繕等も利用している方々で行っていただくこととなります。道路がごみの収取場所になっている件については、グリータウン以外の地区は、何件かございます。合併前からそのようにしている地区もありますので、全部、ステーションとして別の場所にするのは難しいので、今後の課題として検討してければと思います。</p>	

質問 40 石橋地区に市役所支所を作らないのはなぜか	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>以前は旧公民館に市民課がありました。新しい石橋公民館にはないので職員に尋ねたら、人手がかかるから出来ないという答えでした。私の住む地区は、下野市と宇都宮市の境にあり、下野市役所まで約10kmあります。自動車が乗れない年代になったら、市役所まで行くのも不便です。石橋地区の市民に対する行政サービスについての考えを聞きたいです。</p>	
回答	
<p>旧石橋公民館及び南河内図書館の市民課窓口につきましては、機能を集約し各種手続きが一か所で完了できるようにするため、下野市行政組織機構改革検討委員会により廃止の方向が示され、約1年間の周知期間を設け、令和3年3月に閉鎖したものです。</p> <p>本市といたしましては、市役所の支所を再整備する予定はありませんが、行政手続きのデジタル化と公共交通網の整備により、行政サービスの維持、市民サービスの向上に努めております。</p> <p>行政手続きのデジタル化では、コンビニエンスストアで証明書が受け取れるサービスの拡充や、窓口に来庁することなく各種申請手続きが行える「オンライン申請システム」を本年2月からスタートし推進しております。</p> <p>また、公共交通網の整備では、デマンド交通の利便性の向上や新たな広域連携バスの運行などに取り組んでいるところであります。</p> <p>これからも市民に満足いただける行政サービスの提供に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p>	

質問 41 自衛隊駐屯地の騒音被害に対する保障金について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>上原地区には、自衛隊宇都宮駐屯地の騒音被害に対する保障金が、国から毎年2,500万円支払われていると聞きました。それは事実でしょうか、事実なら金額と用途を知りたいです。そういうお金があるのであれば、実際に騒音被害を受け、我慢している住民の生活向上に使ってほしいです。</p>	
回答	
<p>自衛隊駐屯地の騒音被害に対する保障金ということでございますが、本市におきましてはこれらが交付されているという事実はございません。</p> <p>また、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条に基づき、防衛施設の設置又は運用により生じている影響の軽減を図るため、特定防衛施設の周辺市町村が行う公共施設の設備の整備又はその他の生活環境の改善若しくは開発の円滑な実施に寄与する事業にあてるため特定防衛施設周辺整備調整交付金が交付されます。</p> <p>ただし、国が指定している特定防衛施設及び特定防衛施設関連市町村としましては、県内では宇都宮飛行場を有する北宇都宮駐屯が所在する宇都宮市のみであります。</p> <p>なお、国有提供施設等所在市町村助成交付金に関する法律に基づき、自衛隊が使用する土地、建物及び工作物の国有財産を対象に、国の予算の範囲内において、当該固定資産の価格、当該市町村の財政状況を考慮して交付金を交付するものとしており、令和4年度決算において3千909万円の交付がございました。この交付金は固定資産税の代替的な財政補給金としての性格のものであり、用途の制限のない一般財源として毎年交付され、充当先については特定しておりません。</p>	

質問 42 「こどもまんなか」 こども家庭庁が今年度発足して	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>子ども計画・子ども大綱、その計画の市民への公表、これまでの子ども・若者施策の一体化、また、子ども施策の策定、実施評価にあたっては、子どもと保護者・関係者の意見を反映させるための必要な措置を講ずることが求められています。(こども基本法)</p> <p>市としての取り組み・考え方を聞かせてください。</p>	
回答	
<p>下野市では、「第二期下野市子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が令和6年度末をもって終了することから、「第三期下野市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、子育て世代の子ども・子育て支援に関する利用希望や意見を把握するためのアンケート調査を今秋に実施いたします。また、本計画の策定にあたりましては、市民の皆様で構成する「子ども子育て会議」において検討することとなっております。これらのアンケートや委員の皆様のご意見を十分踏まえるとともに、計画案の段階において市民の皆様からご意見をいただく機会として、パブリックコメントを実施し、策定を進めてまいることとしております。</p> <p>国においては、今年4月に施行された子ども基本法を具体的に推進するため、こどもまんなか社会の実現に向け、年末、閣議決定を目指して「こども大綱」の策定作業を進めていますが、市町村においては、国のこども大綱と都道府県子ども計画を勘案し、「こども計画」を定めるよう努めることとされています。</p> <p>「子ども・子育て支援事業計画」は、「こども計画」に一体的に策定することも可能であることから、これら国や県の動向を十分に注視しながら、計画の策定を進めてまいります。</p>	

質問 43 子どもの居場所について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>不登校の子どもが全国で30万人弱いると言われていました。</p> <p>家庭・学校以外での子どもの居場所、学校に行きたくない時に受け入れてくれる場所が必要かと思いがいかでしょうか。</p> <p>子どもたちが明るく元気に育つこと、成長してこのまちに根付くことで高齢化が少しでも解消できたらと思います。</p> <p>また、子どもを社会全体で育てる仕組みはできないでしょうか。子どもを大学まで教育するには親の負担が大きすぎるのが実感です。</p> <p>子どもを安心して産み育てられるまちにしていきたいです。</p>	

回答	
<p>学校に行きたくない時に受け入れてくれる場所としては、中学生までのお子さんであれば、学校教育サポートセンター内に「スマイル教室」があります。また、家庭や学校の他に、子どもが安心して居られる居場所、放課後利用できる公的な場所としては、児童館や公民館、図書館などがあります。各館とも利用しやすい環境づくりに努めておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。</p> <p>民間が運営する居場所としては、子ども食堂やフリースクール、自立援助ホームなどが挙げられます。本市において、そのような活動を志す団体がありましたら、積極的に育成支援してまいりたいと考えています。</p> <p>今後も、地域社会全体で子育てを応援する仕組みづくりに努めますとともに、若い世代の方が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、結婚から、出産、子育て、教育まで、切れ目のない子育て支援に力を入れ取り組んでまいります。</p>	

質問 44 休み期間中の中高生の学習の場について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>中学生・高校生の夏季休暇等の間、図書館の休館日には、中高生の学習の場がなくなってしまうのが見受けられます。図書館の学習室に限定しても結構ですので、休み期間中は全日開けていただければと思います。</p>	
回答	
<p>子どもたちの学びの場を保障することは大変大切なことであります。そこで、全ての公民館には、机・椅子等を置き、子どもたちの学びのスペースを設置しております。特に、新たに開館した石橋公民館におきましては、一人ひとりが個別に学習できるスペース、自由にレイアウトを変えられて、集団で学びを図れるスペースがございます。</p> <p>また、全ての小中学校、南河内小中学校後期課程には、いきいき学び塾と申しまして、夏休みにサポートセンターの職員が出向き、主に図書室を利用して自習をし、必要に応じてサポートセンターの職員が子どもたちの質問に答えるといった学びの場がございます。どちらも周知に関しては今後積極的に行っていかなければならないと考えており、子どもたちが学びの場を活用できるように図ってまいります。</p>	

質問 45 ゆうがおバスについて	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>ゆうがおバスの利用者が少ないように思います。最近はや々な形態のバスがあり、小型のバス、ワゴン車規模のバス等もございますので、できれば経費削減になるようお願いいたします。</p>	
回答	
<p>バスの運行が始めて3年経過しましたので、実情を見て、改善すべきところはしっかり改善していきたいと考えております。</p> <p>関東バスに委託しているので、バスの効率的な運行というのもありますし、まずは何より、多くの方に利用していただくのが一番いいことですので、利用促進のためにPRし、効率的な運行ができるよう関係者と協力してまいりたいと考えております。</p>	

質問 46 国民健康保険の不公平について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>国民健康保険に入っていて大体所得の11%くらい払っているが、職員さんがその半分というのは、公平公正に欠けていると思います。何年か前の広報に市長は公平公正を維持するために国に申し立てをすることができると書いてありました。しかも国民健康保険は譲渡所得を加算されてしまふ、国税は分離課税だけどなぜか加算されてしまふと。これを審査請求したら、昭和25年より決まっていることだからとの回答でした。市長は公平公正を考えているか確認したいです。</p>	
回答	
<p>国民健康保険の負担の違いがありますが、色々な方がいて、みんなが払ってみんなが助けられるものであります。負担額の状況は、国においても課題として注目されていますので、今後国の動き等を見極めていきたいです。</p>	

質問 47 中小企業者等原油価格・物価高騰対策支援金及び農業経営支援事業継続支援金について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>昨年と今年、実施している支援金について、私は不動産所得がありますが、これは除外しますとのことでした。中小企業ですし、なぜ差別されるのかわかりません。</p> <p>農業収入については、100万円以上得ていることという要件があります。市の繁栄があるのは、2,000㎡くらい土地を提供したことによって成り立っている、そういう人たちのことを全然考えていません。こういう講習会も地方税で成り立っていると思います。公平公正ではないのではないかと、お尋ねしたいです。</p>	
回答	
<p>農業者支援金、中小企業者支援金は、昨年はコロナ過で影響を受けた事業者に対して、事業をやめてしまうことが危惧されるため、できるだけやめないで続けていただきたいということから、少しでも収入があるのであれば、支援をさせていただきました。今年については、物価・原油価格の高騰の影響を受けて、厳しい経営状況に直面している方を対象としております。物価高騰の影響を如実に受けているのは一定の収入がある方ではないかという判断により、今回の基準とさせていただきました。</p>	

質問 48 市として力を入れている取組と課題について	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>色々な政策がある中で、市として特に力を入れている取り組みは何かということと、特に下野市として頑張っていかなければならないと考えている課題があれば、教えていただきたいです。</p>	
<p>人口減少の状況においても、下野市の人口はわずかですが増えております。色々な住みやすい理由があると思いますが、住みやすさと下野市の価値を証明し、さらに人や企業に選ばれるまちづくりを進めていきたいと考えております。現在、産業団地を整備しておりますが、製造、雇用、投資につながる企業に選ばれるまちとして、他の地区でも産業団地や企業の誘致に力を入れていきたいです。また、医療に恵まれている地域なので、その良さを伸ばし、下野市だからこそ受けられる医療を確立し、全国から注目されるよう取り組むとともに、子育て政策にも力をいれ、切れ目、抜け目のない支援をしていきたいと考えております。</p> <p>課題としては、市役所周辺や駅周辺にも未利用地があり、発展する可能性があるため、有効な土地利用を進めていきたいです。これには、厳しい規制もあるため、下野市としての方向性をしっかりと示して、国や県に訴えていきたいと考えております。</p>	

質問 49 マイナンバーカードの手続きについて	10月11日(水) 国分寺公民館
<p>マイナンバーカードを郵送で申し込み、窓口にとりに行ったところ、カードの受け取り後、健康保険証との紐づけの手続きは別で手続きをしてくださいと言われましたが、その日は混んでいたので帰ってしまいました。その後どうなっているかお聞きしたいです。</p>	
回答	
<p>市民課に保険証と通帳をお持ちいただければ、手続きをさせていただきます。もし市役所に来るのが困難であれば、スマートフォンで操作することも可能です。市役所に来ていただけるのであれば、専用の窓口がございますので、対応させていただきます。</p>	

質問 50 コロナワクチンの予防接種について	10月11日（水）国分寺公民館
<p>コロナウイルスのワクチン接種の申し込みをしましたが、もうワクチンがなくなってしまう、申し込みが終わりと言われました。いつ頃入るのかを聞いても、わかりませんとのことでしたので、ワクチン接種はどうなっているか教えていただきたいです。</p>	
回答	
<p>今回の秋接種は、生後2か月以上の方を対象に接種を行うものでございますが、ワクチンの種類がかわったこともあり、確かに国の方からのワクチンの供給が思うように届いていない状況にあります。各医療機関での個別接種は、供給されているワクチンに合わせて各医療機関で予約も受けていただいているところです。それと別に10月21日からきらら館において集団接種も予定しております。主に土曜日と日曜日に行う予定ですので、希望される日がございましたら、そちらのご予約をしていただければと思います。</p>	

質問 51 市民運動会の参加自治会について	10月11日（水）国分寺公民館
<p>先日市民運動会に参加しましたが、国分寺は38チームあるうち、参加したのが15チームでした。聞くところによると、石橋は43チームあるうち参加したのは13チーム。今後どうされる予定なのか、お聞かせいただきたいです。</p>	
回答	
<p>今年は、今までのコロナウイルスのこともあり、午前中の開催としました。次年度につきましては、たくさんの方に参加していただき、喜んでいただけるよう、目的を果たせるような体育祭が開催できるように考えていきたいと思っております。</p>	

質問 52 グリーンタウンコミュニティセンターの指定管理料について	10月11日（水）国分寺公民館
<p>グリーンタウンコミュニティセンターの敷地内に市民活動センターができれば、今までグリーンタウンコミュセンを利用していた方達が、活動センターの方が無料なのでそちらを利用するという事になり、利用料が減っています。</p> <p>指定管理は3年契約で、次年度が最終年度のため更新の話が来ましたが、大変だから辞退を考えました。しかし利用者があるため、その調整がうまくいかなかったため、サインをしました。赤字があるので、指定管理料を加算していただきたいと言いましたが、だめだということを受けました。他の2つのセンターと同額というわけではなく、利用者の数とか状況によって違うのですが、当方が一番低く、活動センターができたこともあるので、考えていただきたいと思っております。</p>	
回答	
<p>コミュニティについては、近隣の住民の中で、思考、レクリエーション、教育などの機会をもって市のコミュニティの再生を図る目的として、なくてはならないものと考えております。</p> <p>来年度新たに更新になりますので、内容もグリーンタウンコミュニティの方と確認しながら、指定管理料も決定していきたいと考えており、今後協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>	

質問 53 自治会の加入率低下について	10月11日（水）国分寺公民館
<p>自治会の加入率が減っています。やめていく人を引き留める理由があまりないので、対策を考えていただきたいです。</p>	
回答	
<p>自治会加入率の低下については、市としても重要な課題として考えていかなければならないと思っております。人と人とのつながり、自治会の活動というのは大変重要なものだと思います。自治会に入るメリットを市として発信し、自治会の負担についても対策を考えていきたいと思っております。</p>	

質問 54 コンパクトシティのイメージについて	10月11日(水) 国分寺公民館
コンパクトシティというのは、自動車レベルのコンパクトなのか、自転車レベルのコンパクトなのか、高齢者にとっては徒歩レベルのコンパクトも考えられますが、どんなコンパクトな生活圏をイメージして考えているのか、お聞きしたいです。	
回答	
公共交通、病院、行政機能など色々なものを集約させていただき、住みやすい環境を作るというコンパクトシティという概念であります。ただし、土地利用、活用についてはまだ改善できていない問題があり、駅周辺については近隣の皆様のご理解が必要であり、今後協議を行い、方向性を決定していきたいと考えております。	

質問 55 農業の研修者及び観光の対象者について	10月11日(水) 国分寺公民館
農業の研修者受け入れについて、海外の方が下野市の農地を取得することを想定していますか。また、観光については、外国の方に来てほしいと考えていますか、国内の人に向けての観光を考えていますか。	
回答	
農業をやる方については、個人的に農地を取得して農業をやるというのは成り立たず、周りの方の理解があって初めて農業ができるものと考えられます。外国人、日本人に問わず、農地取得にしても、農業の方法についても、地域の方との理解があって、コミュニティが図れる方であれば良いと思います。耕作放棄地がなく、地域活性化につながるような農業を持続していただけるように研究をしていかなければならないと考えております。	
市が考えている観光というのは、全国的に見て下野市という存在が伝わっていないと思われるので、まずは下野市が認知度を高めていくことを考えています。外国人、日本人ではなく、幅広く下野市の魅力を発信していければ良いと思います。	

質問 56 市民と市長・市の担当者が話し合える場所について	10月11日(水) 国分寺公民館
タウントークで、色々な人の意見を聞くことができ、自分自身の問題意識にも気づかされることができました。こんなにかしこまった場でなくていいのですが、住民の皆さんと困っていることや問題を横のつながりで共有できる場所があるといいと思いました。そこに場合によっては市の担当者が加わって意見を吸い上げることができたら、良いと思います。	
回答	
市内で活動している団体の方と、これからのまちづくり等について話し合うランチトークというものもございます。このタウントークも市民の皆様のご意見をお伺いできる機会ですので、今後も続けていきたいと思っております。	
また、職員がお伺いし、あるテーマについて、市民の皆様に講座を行う「出前講座」もございましたので、よろしければご検討いただければと思います。	